

第 5 回東御市地球温暖化対策地域推進計画検討委員会議事要旨

H22.3.12(金) 15:00～17:30

東御市勤労者会館 2 階大会議室

【出席者】

(委員:敬称略)

佐藤 哲、清水 賢司、久木田 淳、正田 寿男、関 正喜、関 幸枝、新田 詔三、中澤 亥三、
萩原 猛、工藤 浩平

[欠席:]

宮原 則子、今井 道博、石川 昭隆、高藤 圭一、森 まり子

(事務局)

山浦市民生活部長、土屋市民課長、小菅市民課生活環境係長、

寺田市民課生活環境係主査

西本技術部長(玉野総合コンサルタント)、中根係長(玉野総合コンサルタント)

【配布資料】

- ・東御市地球温暖化対策地域推進計画検討委員会会議次第
- ・東御市地球温暖化対策地域推進計画(最終案)
- ・東御市地球温暖化対策地域推進計画概要版(案)

【議 事】

１．開 会

２．会議事項（１）東御市地球温暖化対策地域推進計画（最終案）について 変更点について（事務局より説明）

３．変更点に関する委員からの意見と回答

【用語集：コージェネレーションとヒートポンプ p87、89】

久木田委員

用語集の「コージェネレーションシステム」は、普及されている家庭用コージェネレーションの説明を書いて欲しい。ガス等で電気を作って、余った熱でお湯をつくり、暖房ができる。

また、「ヒートポンプ」については、高効率のヒートポンプエアコンとして取り上げたが、後段が高効率給湯器の説明になっている。エアコン利用の説明を書いて欲しい。

佐藤委員長

家庭用と企業用と分けて書いたほうが良いと思う。

新田委員

コージェネレーションは家庭だけでなく企業も対象としているので、家庭に書き換えるのではなく併記して欲しい。

【用語集：アルファベットの用語 p87】

工藤委員

見出しで「アルファベット」と表記しているが、この表現で良いのか気になる。

佐藤委員長

わかりやすいので、良いのではないかな。

工藤委員

「IPCC」などは、何の略か記載していただくと分かりやすい。

佐藤委員長

「３Ｒ」には「４Ｒ」も入れていただきたい。

【用語集全般】

荻原委員

用語集の言葉は、計画書の中で使われているものか。

事務局

そうなります。

佐藤委員長

なじみのない単語には用語集がつけてある旨を計画の趣旨などに入れて欲しい。

関 正喜委員

用語の順番が整理されていない。

【用語集：バイオエネルギー p89】

佐藤委員長

バイオマスがエネルギー源として利用されることを明記すべき。発電や熱利用など。

【用語集：IPCC P87】

佐藤委員長

IPCC はノーベル賞を受賞したことにもコメントを入れてください。

【発光ダイオードについて p58】

佐藤委員長

発光ダイオードについては、市だけでなく、市民・事業者を含めた取り組みにして欲しい

【用語集：バイオガソリン P89】

関 正喜委員

バイオエタノールは一般車に入れても大丈夫なのか。

佐藤委員長

事務局で調べていただき、注意が必要な場合はその旨、計画書に記載して欲しい。

清水委員

エネオスについては、既に1%混ざっているはずです。

佐藤委員長

具体的に導入がされているようでしたら、その旨も記載していただきたい。

荻原委員

法律で何%入れられるか決まっている（品質確保法で8%以下となっている）。ガソリン税の関係で脱税になってしまう問題もある。

佐藤委員長

用語集で説明をしてください。

【バイオマスエネルギーの利用 P56】

工藤委員

バイオマスエネルギーの利用について、廃食用油の収集は家庭や事業者の取り組みも必要になる。市民、事業者を入れていただきたい。

事務局

現在は収集量が少なく、塗料などに利用している。今後、収集量が増えてくればより使えるようになる。生ごみ処理で廃油を利用すると良いらしく、そちらに利用されると出てこなくなるかもしれない。

関 幸枝委員

廃油で暖めると生ごみ処理に効果がある。

佐藤委員長

ペレットストーブなど、市民、事業者などの取り組みを追加していただきたい。

【今後の見直しについて】

新田委員

この計画の見直しの期間については、どのようなお考えか。

佐藤委員長

これから推進委員会で進捗管理をしていく。進捗状況に応じて目標を見直します。毎年見直していくが、目標は 2020 年のため、その頃に 2050 年を目指して見直すこととなる。今後の推進体制については、検討していく必要がある。

【計画書の修正期限について】

佐藤委員長

計画書の修正が可能なのは、何時まででしょうか。

事務局

環境審議会が 18 日に予定されているため、15 日までをお願いしたい。

4．パブリックコメント、議会説明について（事務局：小菅係長、山浦部長より説明）

5．パブリックコメントに関する委員からの意見と回答

【環境モデル都市について】

工藤委員

飯田市は先進的な取り組みをしており、環境モデル都市となっている。東御市は環境モデル都市になるといったおつもりはないのか。

事務局

飯田市は環境以外の面も先進的に進めている。第 2 の飯田市を目指すためにも、着実に計画を進めていきたい。

佐藤委員長

市民の訴求力としては、モデル都市に認定されると大きい。機会があれば、声をあげていただきたい。

【国・県の政策が後退した場合について】

佐藤委員長

国・県が施策後退した場合の質問が議会であったようだが、どのように回答されたのか。
事務局

後退することはないだろうとお答えしている。

佐藤委員長

東御市から逆に国や県へ情報発信をし、相互作用をもっていただければよい。

【環境の講演会について】

新田委員

環境の専門家に講演会をやっていただきたい。

【地域の取り組みの情報発信について】

佐藤委員長

パブコメにもあった地域の方の取り組みの発信が重要。今後の取り組みの中で、ご意見したい。取り組みを市が認識し、広報する仕組みが必要である。

【事業者へのサポートについて】

佐藤委員長

運輸業界をはじめとする事業者の取り組みのサポートが必要。計画の中では既存のネットワークを活用することが示されているが、市が新しい取り組みをすることも今後の検討課題となる。

事務局

東御市の ISO ネットワークにおいて、日信工業さんの先進的な取り組みを情報交換しました。今後もそのような活動をしていきたいと考えています。

荻原委員

ISO はお金がかかる。ISO 中心でなく、長野県も取り入れたエコアクション 21 などもっと身近な企業を市で集めてやって欲しい。

事務局

今後は ISO にこだわらず、計画書にある事業所との協定などを結びながら、その取り組みについて、情報発信していきたい。

荻原委員

評価制度を確立していただきたい。小さい行動を一生懸命やっている方々がいる。市民全体がわかるように、取り組みが評価されるような制度が重要になる。

事務局

市の広報で、事業者の取り組みを紹介していきたい。東京都の評価制度も利点として取り組みの紹介をしている。

【用語集：PDCAサイクル】

佐藤委員長

PDCA サイクルを用語集に追加したほうがよい。P76 を活かして詳しく書いていただければよい。

【裏表紙のロゴについて】

工藤委員

東御市の広報にあるチーム・マイナス6%のロゴを計画書に入れてはどうか。

佐藤委員長

計画書のロゴの中の、真ん中のロゴはなんでしょうか。

事務局

印刷に関連するロゴと聞いております。

6．花岡市長お礼の挨拶

7．概要版について（事務局より説明）

8．概要版に関する委員からの意見と回答

【フードマイレージについて】

工藤委員

『3) 環境教育及び地産地消の推進 市民と取組』に「フードマイレージ表示の少ない～」とあるが、「フードマイレージ値の少ない～」にすべき。

【進捗管理について】

中澤委員

平成24年までに時間がない。協議会は年2～3回なので、年次報告を早く出す必要がある。

佐藤委員長

各事業で個別効果を見ていく必要がある。年次報告は全体像だが、各事業についてもPDCAを早く回していくことが必要になる。

【温室効果ガスの部門別割合について】

新田委員

市民に意識を持ってもらうためにも、家庭部門が増えてきていることを表現して欲しい。

今の表現だと、産業部門や運輸部門がやればよいことになってしまう。

佐藤委員長

運輸部門に家庭の自動車が含まれていることを記載すべき。市民に対するインパクトを強くするよう工夫をしてください。

【削減量の表示について】

佐藤委員長

各施策について、実施することによってどれだけ効果があるのかを示すべき。全てでなくてよいが、市民に関することは表示して欲しい。数字が分かるようにすることを検討して欲しい。絵を小さくするなどして対応して欲しい。

【バイオガソリンについて】

佐藤市長委員長

バイオガソリンの法改正は行われたのか。

事務局

まだです。

【温泉熱利用について P56】

花岡市長

温泉は地中深く 1,000m 以上地下にあるため、熱エネルギーの利用は難しい。「地熱」の表記がよいのではないか。

佐藤委員長

本編も合わせて修正願います。

【LPG ステーションの設置や誘致について】

花岡市長

LPG ステーションの設置や誘致とは、何をさしているのか。

佐藤委員長

LPG ステーションがいきなり出てくると、車の話だと分からない。分かるようにしてください。

【クレジットについて】

清水委員

『2』啓発活動と市民・事業者の自主行動』でクレジットの話題が記載してあるが、これは計画に足らない場合のためのものなので、記載しないほうが良いのではないか。

佐藤委員長

排出権取引を本編には入れてあるが、概要版には出さないようにしましょう。

【車の買い替えについて】

花岡市長

『1) 高エネルギー効率機器の普及促進』において、「燃費の良い車」とあるが、「環境にやさしい車」の表現が良いのではないかな。

【難しい言葉について】

花岡市長

市民がわかる言葉にする必要がある。カーボン・オフセットなどは分かるのか。

佐藤委員長

カーボン・オフセットは取引関係にあたるので、概要版からは取りましょう。

【吸収源対策について】

佐藤委員長

吸収源対策について、表現したほうが良い。

事務局

「山林を一定規模に集約し、効率的な間伐を行います。」と記載しています。

佐藤委員長

この対策がどのような効果があるのかが分かりません。また、「一定規模に集約」という表現は必要でしょうか。適切な間伐を行い、CO2を吸収することを表現すべき。

中澤委員

吸収源対策は大きなウエイトを占めているので、表現を大きくして欲しい。

【イラストについて】

工藤委員

地球のイラストから出ているガスの説明がある。市民にはわからないと思う。日本語で表記するなどすべき。

【生ごみ処理について】

花岡市長

『(4) 循環型社会の構築 市の取組』に「様々な堆肥化の方法を周知します。」とあるが、市としては生ごみ処理を行わないということか。

事務局

本編では、有機質の循環化、地産地消を進める旨、記載しています。

佐藤委員長

そこを強調する形で盛り込んでください。

【メタンについて】

久木田委員

メタンは燃焼としてはクリーンなのだが、イメージにあるメタンは空気中に放散されてしまうものを指している。東御市とは直接関係無いのでは。

佐藤委員長

温室効果ガスの種類を描く必要は無いのではないか。イラストを見直してください。車からの排気ガスなど、排出源を表現したほうが良い。

【概要版の環境審議会への提出について】

佐藤委員長

概要版は環境審議会には提出されるのでしょうか。

事務局

出す予定はありません。

【エコドライブ講習会について】

荻原委員

『2) 啓発活動と市民・事業者の自主行動』にエコドライブ講習会とあるが、運転の技術なのか、運転しないようにするのか、より具体的な内容を表現したほうが良い。

佐藤委員長

エコドライブ講習会をして、何を達成するかを記載する必要がある。

【環境家計簿について】

中澤委員

『2) 啓発活動と市民・事業者の自主行動』の「環境家庭簿」は「環境家計簿」の誤りです。

【番号のふり方について】

佐藤委員長

カッコ書きが多くて分かりにくい。「(1)」を「1」としたほうが良い。

【山林を一定規模に集約するについて】

荻原委員

『3) 緑地の保全と緑化の推進』の「山林を一定規模に集約し～」とあるが、「一定規模に集約する必要性がわからない。

佐藤委員長

集約するのは作業効率の話で、本来の目的とは関係ない。本編にも同様の表現がされているが、こちらも見直したほうが良い。少なくとも概要版では表現を検討すべき。

【概要版の修正期限について】

佐藤委員長

概要版の修正も計画書と合わせて 15 日までをお願いします。

9. 会議事項（2）温暖化対策についての推進体制について（事務局より説明）

10. 温暖化対策についての推進体制に関する委員からの意見と回答

佐藤委員長

これまでの議論で上がっていた推進体制に関する質問については、5～6 月に開催される協議会までに検討をお願いします。

【協議会の開催回数】

荻原委員

年に 2 回の開催は良いが、その間に東御市環境デーなどを創っていただき、市民全体のイベントなどをしていただければよいと思う。

佐藤委員長

情報の収集・伝達の手段となるイベントをする旨、ぜひ、ご検討いただきたい。メーリングリストやホームページなどで、委員の人に情報を流す必要がある。定期的なものの以外の情報収集・伝達が必要になる。パブリックコメントの意見対応にもつながると思う。

中澤委員

PDCA の check のための情報をどのように集めるかが問題となる。

佐藤委員長

市民の活動情報をいかに集めるかが課題である。釧路湿原では、市民等の活動を応募して集めて冊子を出している。収集のための予算の問題もある。仕組みづくりを協議会で考えていく必要がある。

【生ごみについて P67】

事務局

市長はメガソーラーと生ごみリサイクルをやっていきたいと考えている。市全体として生ごみのリサイクルの調査研究を加えたい。また、事業者の生ごみについても触れたい。P67 の本編を修正させていただきたい。

【取組の周知について】

中澤委員

計画の実行のスタート宣言はなされないのか。

事務局

広報で5月から特集を予定しています。太陽光発電やエコカーを利用している方の生の声を載せていきます。マイバックなど身近な取り組みについても載せていく予定です。子ども達のポスターについても、企業や商店に貼り、啓発活動をしていきたいと考えています。

佐藤委員長

独自のホームページを作り、広報していく必要がある。市役所の推進会議と連動した取り組みを掲載する。市民の方からホームページに載せるための情報を募集し、情報を絶えずアップする必要がある。

事務局

企業のエコ製品を載せることもできる。市ではなく協議会としてならば、商品紹介も可能と考えられる。

【概要版の配布範囲について】

工藤委員

概要版の配布範囲についてお聞きしたい。

事務局

計画書は200部を予定しており、各課、議員、環境審議会委員にお配りする程度になります。ホームページには掲載します。概要版は1000部なので、全戸配布は難しいです。各公民館など市民が集まる場所に配布して行きたいと考えています。

工藤委員

本計画の目標達成には、市民の理解協力、事業者の行動が必要となる。情報を流していただくことが重要です。

佐藤委員長

メールマガジンが効果的と考える。

荻原委員

概要版は全市民でなくて良いので、全戸数に配っていただきたい。市民啓蒙活動に程遠い。

事務局

多くのごみが出るようなやり方も問題となります。食育でやっていたのですが、広報の中に毎月コーナーをもらえればと考えます。シリーズで取り上げることを検討してみます。

佐藤委員長

メールマガジンを東御市は出していないのでしょうか。

事務局

やっていません。

工藤委員

メールマガジンは、やっている人も少ないのが問題になる。

11. その他について

【概要版の配布範囲について】

関 幸枝委員

東御市として何か一つ柱になる取組を発信していきたい。例えば、生ごみについてでも良いと思う。みんなが取り組めるものが良いと思う。

事務局

太陽光と生ごみを市長は柱としてイメージされています。本編を少し直させていただきます。

関 幸枝委員

市民の実生活の中での市の援助などが出てくれれば、市民の取組も進むと思う。市に頑張っていただいて、市民・事業者がついて行く様にしていきたい。

【最後に】

佐藤委員長

事務局、玉野総合コンサルには、頑張ってください、ありがとうございました。

以 上